

# 米倉教公の週間為替市場見通し

## 12/5 日週号

ドル/円予想レンジ 111.30 - 115.50 円

### 『イタリアの国民投票結果と ECB 理事会に注目！』

#### ■前週の市場動向：ドル/円は堅調推移も週末に緩む

今週のドル/円の週足では、強い保ち合いを現す小陽線引けとなった。週明けは、OPEC 総会や重要イベントを控えポジション調整が強まる展開となり一時 111.32 円まで下落したが、海外時間で株価が持ち直したことで、122 円台後半まで反発する場面があった。29 日は、月末に絡んだ実需勢からのドル買いが継続的に入ったほか、米 7-9 月期 GDP 改定値が市場予想を上回ったことから、一時 113.33 円まで上昇した。30 日は、OPEC 総会で 8 年ぶりに減産が合意されたことで原油高・株高が進み、米長期金利が大幅上昇したことが支えになった。また、ロンドンフィクシングに絡んだドル買いも入り一時 114.54 円まで上昇した。1 日は、リスク選好の動きが継続し、一時 114.82 円と 2 月 16 日来の高値を更新した。しかし、その後は利益確定売りに押されて伸び悩んだ。2 日は、注目された米 11 月雇用統計の発表後に荒い値動きとなったものの、米長期金利の低下につれて一時 113.30 円まで下押し場面も見られるなど、週末や翌週の欧州イベントを控えたポジション調整の動きが強まり、引けにかけて小幅低下となった。

#### ■今週の注目点：イタリアの国民投票結果発表と ECB 定例理事会に注目！

来週の注目点はイタリアの憲法改正の是非を問う国民投票や ECB の定例理事会に注目が集まるほか、オーストリア大統領選挙のやり直しも今週実施されるがリスク回避の動きが強まる可能性も警戒される。イタリアの国民投票で否決された場合は、レンツィ首相が退陣し、政治停滞が懸念されるほか、特に銀行改革が滞り、銀行システムに対する不安感を長引かせる可能性がある。そのため結果次第では、リスク回避の円買いが強まるリスクも残る。他には ECB 理事会、中国 11 月貿易収支、消費者物価、生産者物価などがある。目先の下値目途は 2 日安値の 113.30 円や 11 月 30 日安値の 112.03 円、11 月 29 日安値の 111.59 円、11 月 28 日安値 111.32 円だが、28 日安値を下抜けするとダブルトップ下抜けとなる。上値では、1 日高値の 114.82 円、2 月 16 日高値 114.87 円、2 月 16 日高値 114.87 円、節目の 115.50 円が目途。



#### ★今週の気になる出来事

市場では、イタリアの国民投票やオーストリア大統領選のやりなおし選挙が警戒されるなか、何故かユーロ/ドルは 11 月 24 日をボトムとして戻り基調となっている。この動きに違和感を感じている投資家は多いと思う。シカゴ IMM 投機筋の対米ドルでの差し引き持高は 11 月 22 日付け▲119,348 から 11 月 29 日付け▲119,240 とほぼ変わってない。要するにポジションの巻き戻しでもないようだ。チャート上では徐々に下値・上値を切り上げる戻りとなっている。しかし見方を変えれば上昇ウェッジで最終的には下落？

#### ■テクニカル的な見解：下落調整局面では 111.32 円のダブルトップネックラインを意識！

シカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持高は、円は前週の+10,900 から▲269 へと年初来初めての円売り持ちとなった。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、30 日に売りから買いに転換した。3 日の SAR は 112.11 円とかなり下方に位置している。MACD（パラメータ：12、26、9）では、かい幅がかなり縮小しており、週明けの動き次第ではデットクロスに。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：91.25、%D：90.00 とかなり過熱感出ている。200 日線（茶線）とかなりかい離してきているので調整的な動きの可能性も。また 75 日線（紫線）はほぼ横ばいとなってきた。28 日の安値 111.32 円を下抜けしてしまうと、ダブルトップネックライン下抜けとなってしまう。その際は、予想外の調整下落となる可能性が高く注意が必要となる。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。